

種名	<u>ガ ム シ</u> <u>Hydrophilus acuminatus</u> 
分類	甲虫目ガムシ科
形態的な特徴	ラクビーボールを半分にしたような形をしており、腹面は平らに近い。体は全身黒緑色で光沢がある。上翅にはそれぞれ4列の微細点刻がある。触角はこん棒状で短く頭部の下に隠れている。幼虫はゲンゴロウの幼虫に似ているが体表面の硬化も弱く脚も短くずんぐりしている。
分布	北海道、本州、四国、九州に分布する。
繁殖行動	産卵は5～7月頃で水草などについて水面に浮く白い泡のゆりかごのような卵のうの中には30～40個ほどの乳白色の卵が入っていて、卵はまったく水に濡れない構造になっている。幼虫は5日ほどでふ化し、20日ほどで3回の脱皮を繰り返した後で地中でさなぎになる。冬期は水底の泥中に潜って成虫で越冬する。
生息場所	水田や池沼、川、用水路、湿地など水草の豊富に生えた比較的浅い止水域に生息する。夏の間は特に水田に多くみられる。
食性	幼虫は水生昆虫や小さな巻貝などの小動物を食べて生活する。成虫は腐りかけた植物や水草などを食べる。
生息環境への配慮事項	本種は幼虫期には小動物を食べ、成虫期には植物質を食べることから小動物の生息地としての植物帯は欠かせない。また、さなぎになるために地中に潜ることから水域と陸域の連続性にも配慮する必要がある。
その他	
引用文献： http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変	